

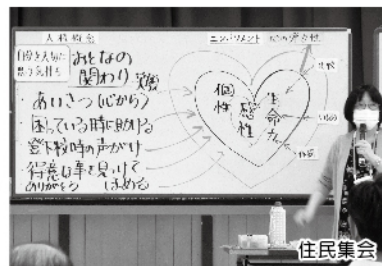
教育文化部 今年を振り返って

教育文化部長 木我 和由

教育文化部は、公民館部会、人権教育部会、青少年部会の3部会で構成しています。今年度もコロナ禍により、多くの事業を中止としました。

【公民館部会】春季スポーツ大会、ふれあいの旅など計画しましたが、感染対策の難しさなど条件が揃わず、すべて中止としました。

【人権教育部会】人権を尊び思いやりのある明るい社会を目的に、住民集会を実施しました。「CAPながの」による講演は、子どもが暴力から自分を守るためのプログラムを体験する参加型であり斬新で大変好評でした。また、広報紙“コミわか広場”に小中学生による人権をテーマにした作文を掲載しました。



住民集会

男女共同参画セミナーは、さまざまな異なる視点から社会を観察することで、性別に由来する不当な差別、偏見、不利益、行動の制限や強制を浮き彫りにし、それをなくすことを心がけることを学びました。

【青少年部会】次世代を担う青少年の健全な育成を目指し、子供相撲大会など計画しましたが、すべて中止としました。

教育文化部は、3年連続で多くの事業が行えない状況が続いています。人と人のふれあいでのり立つ事業のため、如何ともし難い状況ですが、順次感染防止対策も緩和されることから、状況を見極めつつ活動を進めていけたらと思います。

市立若槻公民館 築きあうことができる公民館を目指して

公民館長 関 隆夫

令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら、三年ぶりに『若槻あいあい文化祭』を開催することができ、嬉しい年度となりました。

若槻公民館のホームページは、「若槻地区住民自治協議会・コミュニティわかつき」のホームページの縦オレンジライン窓枠内に一緒に掲げられています。ホームページには、公民館で活動しているグループやサークルの紹介、開講を予定している成人学校や講座など掲載しています。

また、横オレンジラインの窓枠には公民館ブログがあります。貸館の予約状況や開講した講座内容をより多くの地域の皆様に御覧いただけるよう写真と共にコメントを添えて掲載しています。是非ご覧いただきたいと思ひます。

まもなく新年度を迎えますが、新型コロナウイルスに対する基準が緩和されることによって公民館事業にも推進力がつき活発に各事業が展開できると考えられ、より一層親しみやすく明るい公民館を目指して行きたいと考えております。



展示部門 個人出展テーマ
ありがとう・かんしゃ



三登山太鼓の皆様の演奏

(一社) コミわかグリーン倶楽部 一年をふりかえって

(一社) コミわかグリーン倶楽部 中條 務

当社は、若槻地区内の遊休農地拡大の歯止め策の一つとして市民菜園の設置を進め、住民が土への親しみを持ち、野菜作りを通して農作業を理解してもらう目的で設立されました。本年度も会員の皆様のご尽力と利用者様のご理解により、順調な事業展開ができました。

●市民菜園(コミわか農園)事業

12年前に20区画でスタートしたコミわか農園は19か所232区画となり、若槻地区内外の市民が大勢利用しています。新たに徳間の旧長徳寺跡付近の農地8区画を開発し240区画となります。

●皐月かがやき子ども園とのさつま芋栽培体験事業(JA吉田支所との協働事業)

園児にさつま芋の苗の植え付け、収穫の体験をしてもらいました。園児達は掘り出したサツマイモを背に大喜びで帰路につきました。

●ひまわり・ニンニク栽培事業

今年もひまわり栽培をしました。スズメ対策を行いました。乾燥の際の長雨などの影響で例年並みの収穫量に終わりました。また、ひまわり畑の一部でニンニクを栽培、販売しました。

●りんご体験広場事業

田子のリンゴ畑をお借りして、リンゴの栽培体験を続けています。参加者は春の花摘から摘果、着色管理、収穫、出荷まで体験し、採れたりんごはJAに出荷するほか、たくさんお持ち帰りいただきました。

●ザル菊栽培の呼びかけ

ザル菊苗の植え付けのため市民菜園の空き区画を提供し、地区内美観維持に努めました。